



12/2 ボクシングで心の強さを身につけた

標茶町文化講演会がコンベンションホールういずで開かれました。今年は元プロボクサーの内藤大助さんが「いじめられっ子のチャンピオンベルト」という演題でいじめのことやプロボクサー時代のことを語り、参加者からの質問に答えたりしました。



11/22 おいしいものが一堂に集いました

地元の特産物を直売する「うまいもん発見市場」が富士3丁目プラザで開催されました。市場では星空の黒牛や標茶高校の乳製品など本町の特産品が販売され、標茶の恵みを詰め込んだふるさと小包の受け付けが行われ、多くの人でにぎわっていました。



12/7 地元食材をおいしくいただきました

標茶町消費者協会(門屋和子会長)主催の料理講習会・試食懇談会がコンベンションホールういずで開かれました。釧路全日空ホテル総料理長楡金久幸さんを講師に迎え、星空の黒牛や鹿肉、地場産野菜を使った料理全5品を作り、試食会では、いつもの食材を使って大変おいしく参考になったなど、感嘆の声が上がっていました。



11/23 自分の思いを発表しました

第31回標茶町「少年の主張」大会がコンベンションホールういずで開かれました。出場した全小中学校の代表17人は、自分の将来の夢や生活で気付いた課題などを堂々と発表しました。結果は次のとおりです。

■小学生の部

- 最優秀賞 宍戸 大夢くん(塘路小学校6年)
- 優秀賞 甲野藤 雅さん(中御卒別小学校4年)
- 優秀賞 中村 結香さん(標茶小学校6年)

■中学校の部

- 最優秀賞 畠山 瑠加さん(中茶安別中学校2年)
- 優秀賞 川口 親士くん(塘路中学校2年)
- 優秀賞 伊藤 駿良くん(久喜呂中央中学校1年)



12/8 今年も鮮やかでした

北海道雪印メグミルク(株)磯分内工場でイルミネーションの点灯式が行われました。今年には使用する電球をすべてLED電球に変更し節電に配慮しています。点灯式ではカウントダウンの合図とともに小学生がスイッチを押すとイルミネーションが点灯し、同時に花火が打ち上げられ、大きな歓声が上がりました。また、来場者にはプレゼントが手渡され、豚汁や肉まんも無料で振る舞われていました。

12/10 Think Global, Act Local～これから起こること、すべきこと～

本町出身で、初音ミクを生み出したクリプトン・フューチャー・メディア株式会社代表取締役の伊藤博之氏が標茶高校とコンベンションホールういずで講演会を行いました。

標茶高校では「ITマーケットの広がり創造（想像）の力と」題して、自身の経験や考え方などを話し、高校生との対談も行いました。

コンベンションホールういずでは、釧路新聞標茶支局開局15周年・標茶町商工会青年部50周年記念合同講演会として一般公開され、「世界を意識しながら、地元の魅力を改めて考えてほしい。北海道には魅力的なものがたくさんある。それにいかにつ加価値をつけていくかが重要」と語りました。



12/16 家庭料理からはじめる地産地消

「JAしべちゃ家の光クッキング・フェスタ」がふれあい交流センターで開催されました。

料理番組などで活躍している宮本和秀氏を講師に地場産野菜や牛乳、加工品をふんだんに使った料理を参加者と一緒に作りました。宮本さんは「標茶には素晴らしい食材が多い、毎日作るのは大変だけど愛情込めて、できるだけ添加物を使わない料理を作ってほしい」と語りました。



12/10 寒さ到来、運転には細心の注意を

交通安全歳末特別警戒パトライト作戦の出陣式が役場駐車場で行われました。雪が降る中、警察官や交通安全協会の皆さんおよそ20人が参加し、17日間のパトライト作戦を確認しました。出陣式後一斉にパトロールなどに出発しました。

ありがとうございます



12/7

(株)インスマタル(福井英人社長、右から2人目)は、本町の幼稚園、保育園に通う子どもたちへのクリスマスプレゼントとしてお菓子セット280個を寄贈していただきました。

おめでとうございます



11/28

平成24年度秋の叙勲で根本正枝さんが藍綬褒章を受章され、その報告に役場を訪れました。根本さんは昭和54年から統計調査に携わり、30年以上統計調査に従事してその発展に努めました。根本さんは「何も考えずにひたすらやって来たことで、こんな立派な褒章を頂けて正直驚いています。調査に協力してくださった地域の人たちに感謝しています。」と喜びと感謝を話しました。